

2023 年 1 月 26 日

第 98 回大腸癌研究会
大腸癌治療ガイドライン作成委員会 議事録

日時：2023（令和 5）年 1 月 26 日（木）10:00-11:00

場所：浜松町コンベンションセンター

第 4 会場（6F 大会議室 B および Web(ZOOM)）

司会：絹笠祐介

出席者（50 音順、敬省略）

委員：石黒めぐみ、石原聡一郎、上野秀樹、上原圭、岡志郎、加藤健志、金光幸秀、
川上尚人、絹笠祐介、小林宏寿、斎藤豊、塩澤学、塩見明生、篠崎英司、谷口浩也(web)、
中島貴子、堀田欣一、松田圭二、村田幸平、室伏景子、森田智視(web)、山口研成、
山崎健太郎

アドバイザー：橋口陽二郎、吉野孝之

協力者：山内慎一

オブザーバー：8 名

議事録

1) 報告・確認

- ・本委員会の委員構成表を確認した。委員に一名辞退者があったことが報告された。
- ・「大腸癌治療ガイドライン医師用 2022 年版」の発行部数の更新情報を共有した。
- ・改訂作業における基本方針、前回会議までの進捗状況、タイムラインを確認した。

2) CQ について

- ・CQ21 の課題名変更の提案があり承認された（新「肝転移巣切除後に対する術後補助化学療法は推奨されるか?」、旧「切除可能な肝転移に対する術後補助化学療法は推奨されるか?」）。
- ・現在、CQ の推奨文、解説文を作成するための一回目の検索実施が行われ、各委員が自分の担当 CQ に関して、確認作業を進めており、この作業に関する CQ ごとの進捗状況を確認した。
- ・確認作業を終え次第、今後、full paper を読む文献を決定（一次スクリーニング）し、本年 5 月頃に採用論文を決定（二次スクリーニング）し、6 月以降に原案作成にとりかかる予定であることを確認した（定例会に合わせてタイムライン調整）。
- ・複数領域にまたがる CQ は定例会（5～6 月頃）にて原案作成、単領域 CQ は 8 月頃に各

領域にて個別に会議を開き原案作成、そして10月頃の定例会にて推奨度 Voting、という予定を確認した。

3) 本文について

- ・サイドメモにある「生存率等」の説明文は、今回の改訂にて削除し、代わりとして、注釈や序文等の別箇所にも簡略化した形式で掲載することが承認された。
- ・新たなサイドメモとして虫垂 LAMN に関する記載が候補として挙げられた。
- ・本文は、CQ 決定後に速やかに作成し、2023 年 11 月中の完成を目指すことを確認した。

4) 公聴会、アンケートについて

- ・今回の本会（2023 年 1 月・第 98 回）での公聴会は間に合わなかったため、次回 2023 年 7 月の本会において、公聴会を開催する予定である。
- ・大腸癌研究会のホームページにて、新 CQ に関するアンケートを公開し、回答を募集することとなった。

5) その他

- ・ガイドライン速報に関して、医中誌論文の採用是非について検討した。システマティックレビューから医中誌論文を外す提案がある一方で、高齢者に対する治療分野などでは引用しているという意見もあり、「次回」改訂より医中誌不採用について検討するということを確認した。
- ・文献検索方法について、文献担当の山口直比古先生による文献検索法のレクチャー開催の提案があった。
- ・第 4 回定例会（5～6 月頃）の日程調整に関する案内があった。

以上

文責 山内慎一